

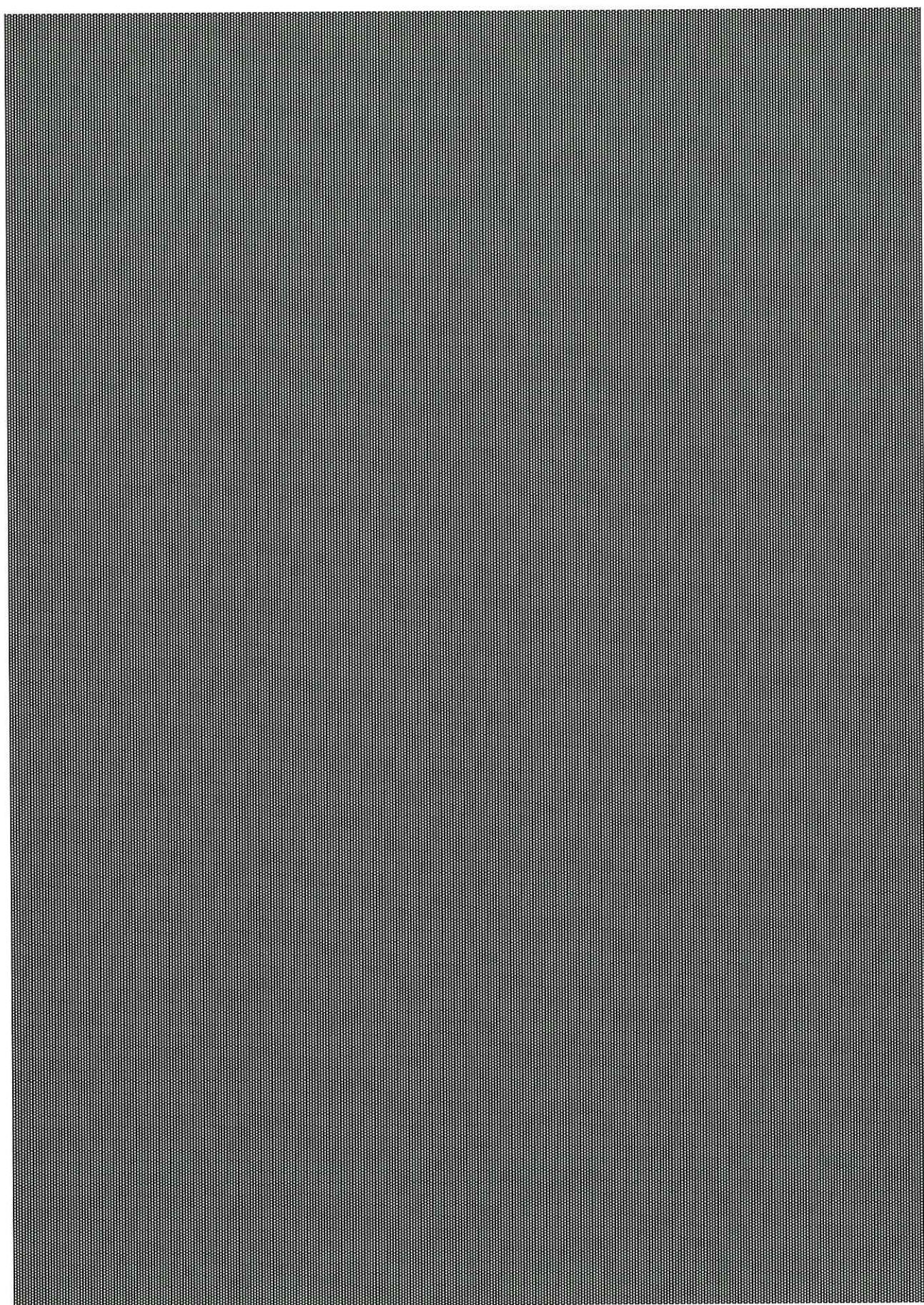
試 験 問 題

論 文 試 験

注意事項

- 1 論文課題A又はBのうち、1題を選択してください。
- 2 論文用紙の「課題」欄に選択した課題の記号のみ（A又はB）を記入し、論文を作成してください。
- 3 日本語による解答を有効とします。
- 4 解答時間は正味1時間です。
- 5 この試験問題の余白を論文の下書用紙として利用してください。
- 6 この試験問題は、持ち帰りできます。

指示があるまで中を開いてはいけません。



A 冷戦後の自衛隊の任務は大きく拡大した。湾岸戦争の終結後には、ペルシャ湾への掃海艇派遣が行われ、国際緊急援助隊や国連平和維持活動への参加が可能となった。北朝鮮の核危機や台湾海峡危機の後には、日本の平和と安全に重要な影響を与える事態への対応が可能となった。米国における同時多発テロの後には、国際テロリズムや海賊など国際社会の脅威に対する共同対処への協力も可能となった。その後は、日本に対するさまざまな侵害活動への対応に関心が及び、有事法制をはじめ弾道ミサイル等の破壊や在外邦人等の輸送手段の拡充が可能となった。平和安全法制の整備では、憲法の解釈が変更され、存立危機事態への対処や米艦等の防護、在外邦人等の保護措置や国連平和維持活動での安全確保業務と駆付警護等が可能となった。

2035年に向けて、自衛隊の任務の範囲やその比重を左右し得る国内外の環境がどのように変化し得るかを、以下の手順を踏まえた複数の未来シナリオ(経路、世界像)の策定を通じて論考し、防衛省・自衛隊が取り組むべき課題を明らかにしなさい。

- (1) 自衛隊の任務の多様化をもたらした原動力を4点挙げて、これらの要因が任務の多様化をどのように促進してきたかを説明しなさい。原動力の候補としては、例えば、以下の切口が考えられるが、これ以外の要素を考えても差し支えない。

ア 国際環境要因

イ 国内環境要因(社会、技術、経済、防衛、政治、法制、環境、治安等)

ウ 日本国民に共有された国際社会観

(2) 前項のモデルの各原動力について、これまでと同じように作用し続ける場合と作用が変化する場合を考える。

ア (1)の4点の原動力がこれまでと同じように作用し続けると想定した場合のベース・シナリオの世界像を説明しなさい。

イ この4点のいずれかの原動力の作用が変化した場合に出現し得るシナリオから(3)での考察にとり意義深いものを3種類挙げて、それぞれのシナリオに名称を付した上で、どの原動力の作用がどう変化し、どのような世界像が出現し、自衛隊の任務の在り方にどのような影響を及ぼすことになるのかを説明しなさい。

(3) 4つのシナリオから、あなたが考える最善と最悪のシナリオをその理由とともに指摘し、今後、防衛省・自衛隊が取り組むべき課題を明らかにしなさい。

B 読書は言語活動の中でも、より知的で創造的な営みであり、文化継承の面においてその果たした役割は計り知れない。しかし、現代人の読書事情を統計から眺めてみると、その読書観が伝統的なそれと大いに変わってきている印象を抱く。

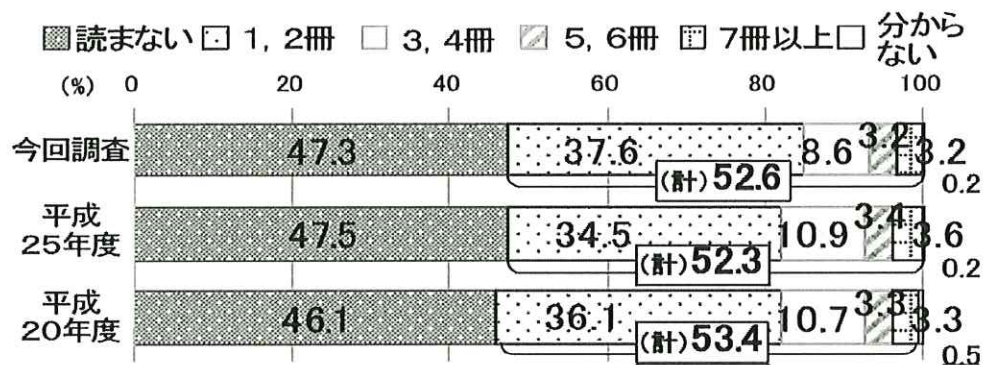
まず、別紙の表より、現代人の読書に対する意識の傾向について論及しなさい。その際、提示された表全てを読み解き、そこから見いだせることを指摘し、さらにそのような状況になっている原因について考察しなさい。

また、あなたはどのような読書観を持っているか。自身の読書体験を例として掲げながら、あなたの抱いている読書観、さらに読書とはこれからどのようなものになっていくべきなのかを論述しなさい。

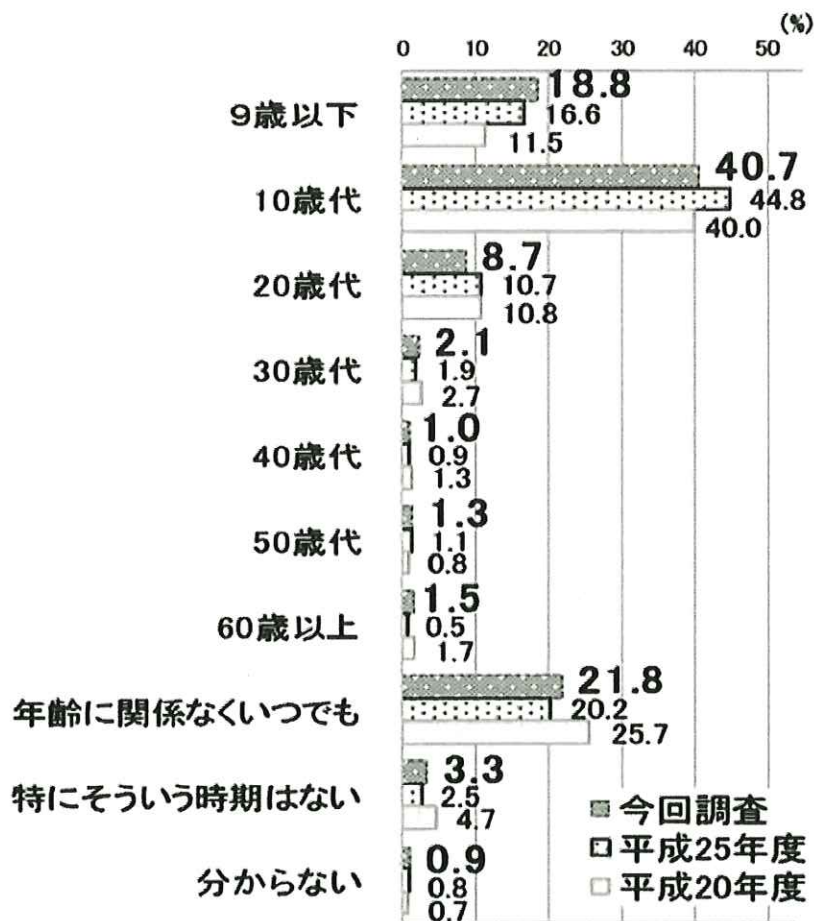
別紙

「読書について」

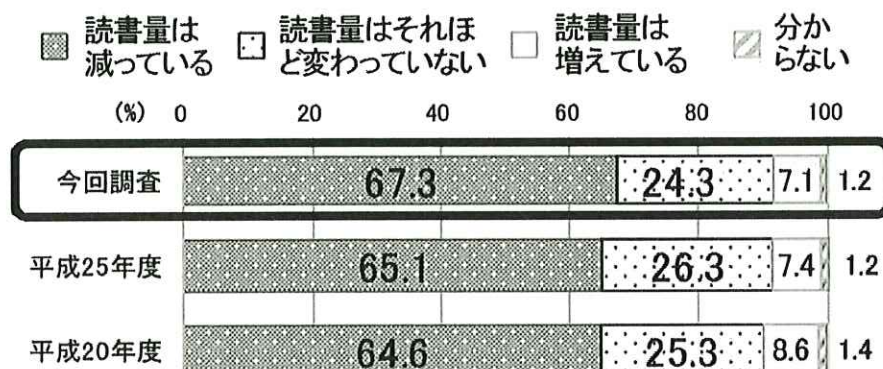
○1か月に大体何冊くらい本を読むか(表1)



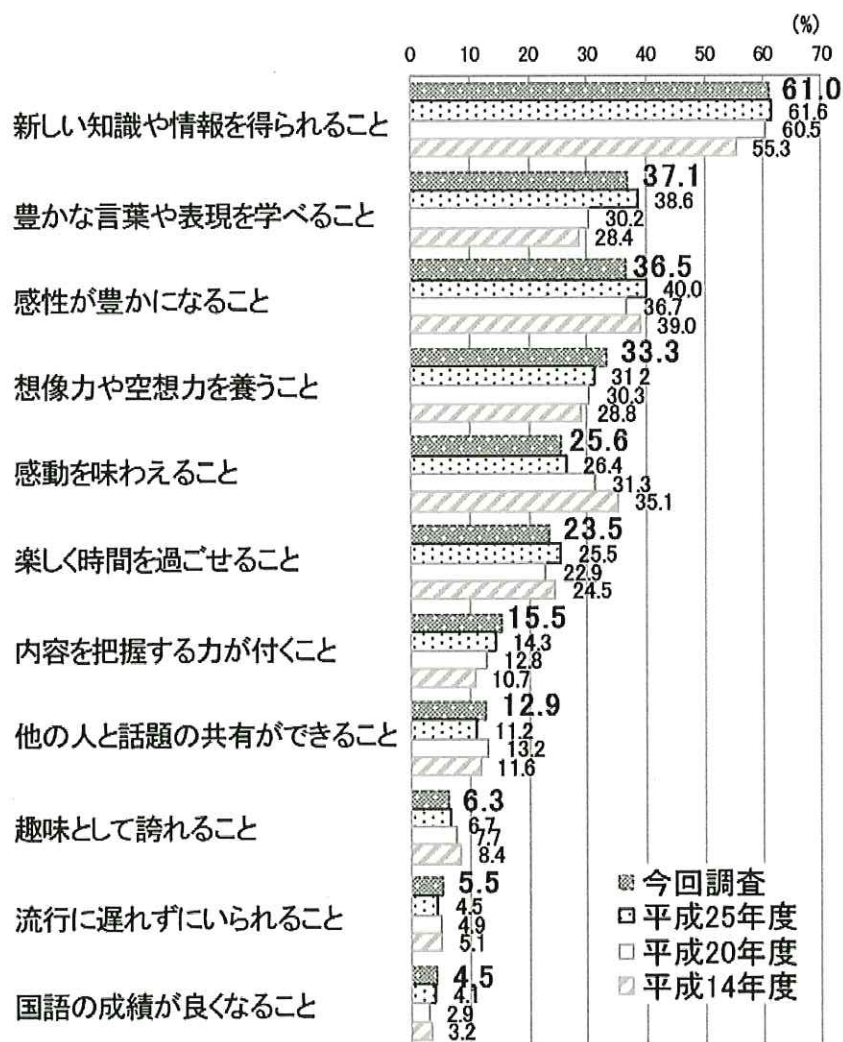
○人が最も読書すべき時期はいつ頃だと考えるか(表2)



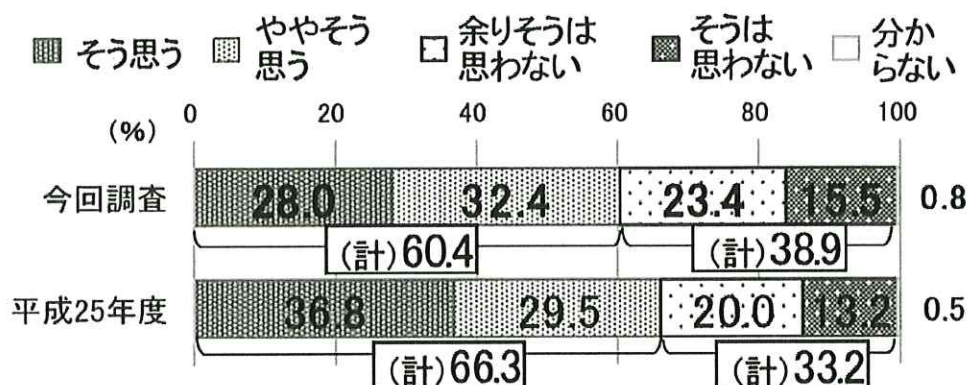
○読書量は、以前に比べて減っているか、それとも、増えているか(表3)



○読書をすることの良いところは何だと思うか(表4)



○自分の読書量を増やしたいと思うか(表5)



○ふだん、電子書籍を利用しているか(表6)



出典：「平成30年度「国語に関する世論調査」の結果の概要(文化庁)」より